

檜皮採取見学会

京都大学フィールド科学教育研究センター徳山試験地は、緑豊かな施設環境を活かし、平成23年度より「京都大学・周南市連携講座（森里海連環学）」を開催し、環境を総合的に考える人材を育成することで、周南市に大きく地域貢献されています。

今回の連携講座は、通常の講義+実習形式ではなく、徳山試験地内で10年に1度行われる檜皮採取の見学会として開催されました。（公社）全国社寺等屋根工事技術保存会の方々の協力により、一般には見る機会のない檜皮の採取から採取後の檜皮を出荷できる状態に整えるまでの作業工程を見学することができました。参加者のみなさんは、プロの原皮師（もとかわし）の技術に感動しておられました。

（ 見学会その1 平成27年12月21日（月） 参加者17名
見学会その2 平成28年1月13日（水） 参加者18名 ）



完成品！